

# 大阪プロダクトエコシステム創出事業

2020年4月～2021年3月実施予定

(公益財団法人大阪産業局)

## 【課題】

大阪には、中小製造業や多様な農産物を生産する事業者が新商品開発や6次産業化に向けてチャレンジしているが、人材・情報・資金などの経営資源が潤沢とは言えない中小企業にとっては、自助努力のみによって、新商品開発や商品改良、販路拡大をやり切る事は難しく、多くの企業が、意欲はあっても思い描いたゴールにたどり着けていないのが現状。

## 【目的】

大阪を代表するブランド・製品の創出、そして販路や売上拡大に課題を持つ既存商品の改良を成功させるために、一過性の支援ではなく、年間を通したハンズオンによる伴走サポートを専門家とともに行う事で、支援終了後に自らの力で継続して事業を行えるまで企業に成長していただき、新たな商品の開発につながる好循環が生まれる支援システムの構築を目指す。

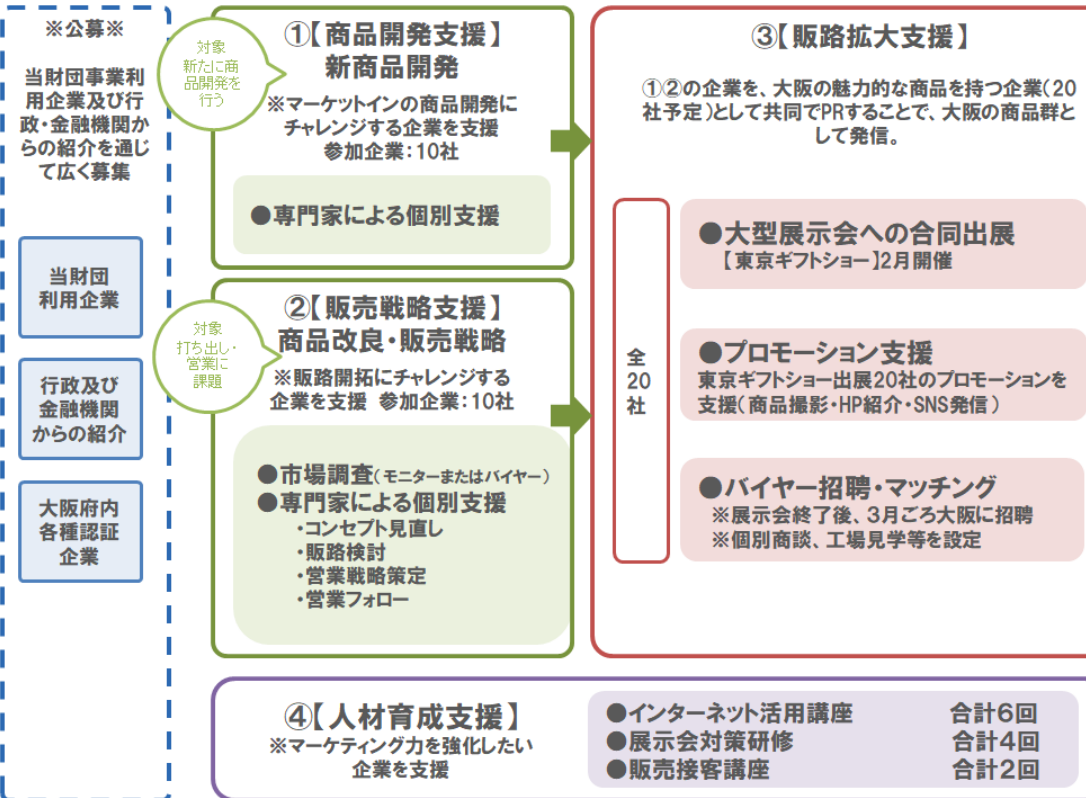
## 【都道府県の施策との連携・親和性】

当財団は、大阪府商工労働部運営方針にあるように、オール大阪（府市）の支援機関として、中小企業が直面する課題に対応できるように支援を行うべく、府・市・大阪産業局の3者による協議を行いながら、経営目標・中期経営計画の策定を進めています。

本事業においても、その方針・計画に基づき、連携を行いながら策定・実施を行っています。

## 【本事業の内容】

## 大阪プロダクトエコシステム創出事業



大阪を代表するブランド・製品の創出、そして販路や売上拡大に課題を持つ既存商品に対して、当事業では大きく④つのプロジェクトに分けて支援事業を構築し、並行して実施することで、事業効果の最大化を図ります。

- ・プロジェクト①【商品開発支援】大阪を代表するブランド・新製品の創出支援
- ・プロジェクト②【販売戦略支援】既存商品の改良・販路開拓支援
- ・プロジェクト③【販路拡大支援】  
大型展示会出展やバイヤーとの商談、催事販売などの機会提供
- ・プロジェクト④【人材育成支援】  
プロジェクト①～③を効果的に実践するためのセミナー・研修

新商品開発を行う【商品開発支援】、既存商品の改良・ブラッシュアップを行う【販売戦略支援】を専門家とともにハンズオンで実施し、【販路拡大支援】において展示会やバイヤーとのマッチングなどの売上げ拡大の機会を提供します。さらに、経営者・経営幹部への【人材育成事業】も行いながら、中小企業に必要な支援を一体的に提供することで、大阪を代表するプロダクトの創出と、大阪のブランド力向上を図ります。

## 【成果目標】

- (商品開発支援)
- ・中小事業者の企画商品の事業化率 90%以上 (10社参加想定)
- (販売戦略支援)
- ・既存商品の改良実施率 90%以上 (10社参加想定)
- (販路拡大支援) (20社参加想定)
- ・展示会出展事業者の有効商談件数 延べ200件以上
- ・バイヤー商談による有効商談件数 延べ20件以上
- (人材育成支援)
- ・各研修参加企業満足度 90%以上 (15名×12回 延べ180名想定)

## 【波及効果】

大阪・関西は、全国有数の観光都市として、全国の訪日客の36%超、年間1000万人を超えるインバウンド観光客が押し寄せています。また、2025年の「関西・大阪万博」に向けて、さらなるインバウンド観光客の増加と、大阪の全国・海外へ向けた認知度が向上することも確実となっています。

大きなビジネスチャンスが広がる中で、本事業による新商品開発・商品改良が実施されることで、多くの中小企業の成長や持続化の一助となるだけでなく、大阪のブランド力向上と商品開発から販路開拓までの好循環が生まれることで、大阪の活性化に寄与できるものと考えます。

## 【将来の支援目標】

大阪におけるプロダクトエコシステムの創出に向けて、継続的に事業の改善を行いながら企業支援を行い、結果として、自立的な商品開発・改良が生まれる環境を整える。